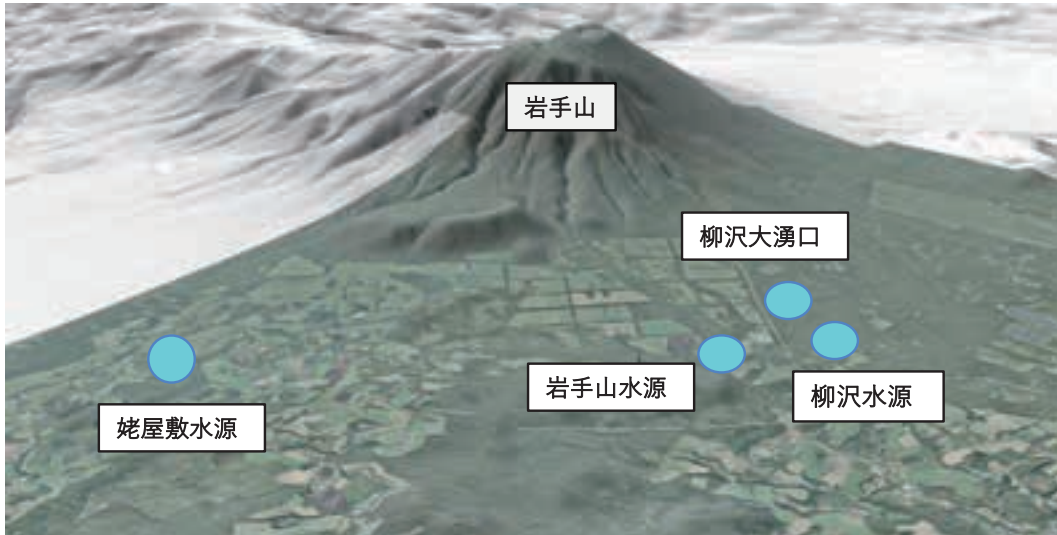


滝沢市の水道水ができるまで

滝沢市の水道水は99%岩手山を由来とする地下水からできています。水源は、柳沢水源、姥屋敷水源、岩手山水源、柳沢大湧口の4つです。残り1%は河川水からできていて、水源は金沢川です。



金沢川を水源とする河川水は、次の手順で安全な水道水に処理されます。

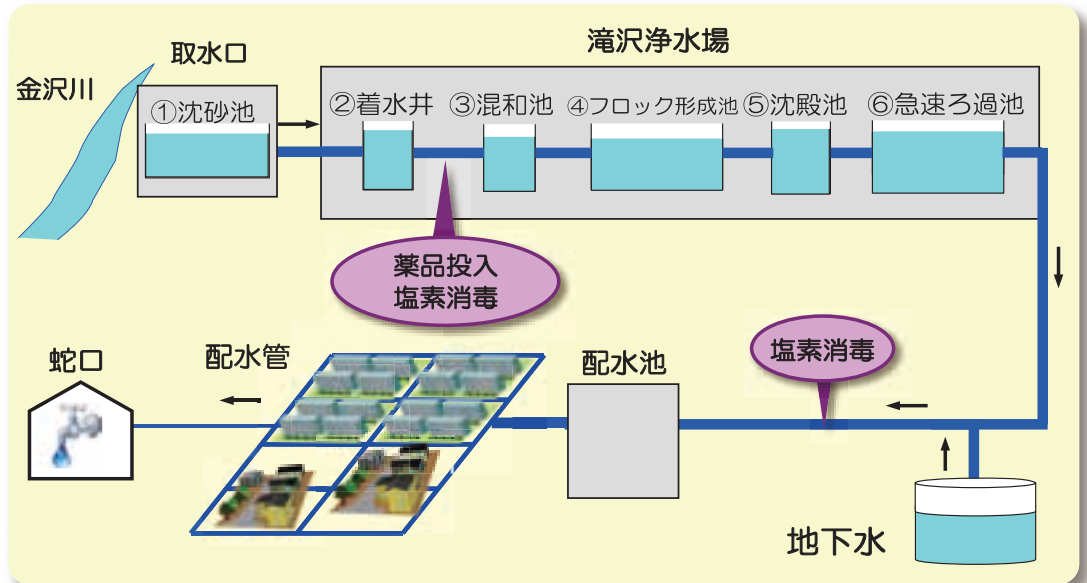
- ① 沈砂池
- ② 着水井
- ③ 混和池
- ④ フロック形成池
- ⑤ 沈殿池
- ⑥ 急速ろ過池

① 沈砂池
水に混ざっている大きなごみや砂などを沈めて取り除きます。

② 着水井
水量を安定させるために一度水を貯めます。

③ 混和池
塩素消毒をします。また、薬品を加え、細かいごみや汚れが集まりやすくなるようにかき混ぜます。

④ フロック形成池
加えた薬品のはたきで汚れがフロックと呼ばれるかたまりになります。



※配水池とは水道水を一時的に貯めておく施設で大きなタンクのようなものです。
配水池に一度水を貯める理由は、水が不足しないようあらかじめ水を貯めておくためと、残量を把握し、どのくらい水道水を作ればいいのかを分析管理するためです。

⑤ 沈殿池
フロックが水の底に沈み、きれいな水だけが上に残ります。

⑥ 急速ろ過池
沈殿後の上澄水をさらにろ過します。
このように処理された河川水は、地下水と混ざり、さらに塩素消毒されます。
こうして、きれいになった水は、配水池に蓄えられ、配水管を通してみなさんの家庭に届けられます。
河川水は水道水として飲むことができますようになるためにたくさんの工程が必要です。しかし、柳沢水源、姥屋敷水源、岩手山水源、柳沢大湧口の地下水は、水質に優れているため、塩素消毒のみで飲むことができますようになります。

塩素消毒のみで飲めるようになる地下水はまさに自然の恵みだね！
「水の日」、「水の週間」をきっかけに水の大切さについて改めて考えてみよう！



タッキー



サワー

河川水を飲むためには、浄水場でたくさんの工程が必要になるんだね。